



2月は冬から春へ 幼稚園でも様々な行事が行われました！

豆まきから始まり、今年度最後の参観日とぼかぼかの会では「お店屋さんごっこ」、浜田水産高校へ出かけての交流活動も行われ、様々な人との触れ合いを楽しみました。就学や進級への期待感をもたせながら残り少ない今年度をみんなで過ごしていきます。

豆まき「鬼は外～！福は内～！」(3日)

今年の節分は2月2日(日)でしたので、翌日の3日(月)に幼稚園の豆まきをしました。この日は暦の上では立春でしたが朝から雪の舞う寒い一日でした。朝の会が終わると、預かりの部屋のストーブの上では黒豆を炒る良い香りが漂ってきました。この日の為にそれぞれが自分の鬼面や鬼帽子、豆入れの三宝を折る等、楽しみに準備を進めていました。



遊戯室で行われた豆まきの集会では、紙芝居を読んでもらったり、クラス毎に鬼面や鬼帽子の紹介をし合ったりしました。さて、豆まき本番になると職員4人の鬼が現れました。今年は顔見知りの先生達の顔が見える鬼さんでしたが、泣き出すお友達もいました。一生懸命「鬼は外～！福は内～！」と豆をまき、鬼も早々に退散しました。中には鬼に豆をプレゼントする人もいたようです。



左から鬼の親分、ヤダヤダ鬼、好き嫌い鬼、片づけない鬼

「お店屋さんごっこ」(14日、17日)

今年度最後の参観日は、お店屋さんごっこです。保護者がお客さんになるといことで子ども達はとても嬉しそう。お客さん達の巧みな声かけにお店の子ども達のボルテージは一気に増しました。

普段の遊びの延長として行うお店屋さん。一人一人が自分のやってみたいお店を開店し、必要な物を考え合ったり、お客様に喜んでもらえる環境づくりを担当と一緒に工夫したりしてきました。一つ一つのお店がすべて違った内容でバラエティー豊かな店舗が並びました。

次の週には先生達のお店屋さんが開店。子ども達は5～6人のチームに分かれて前半はお買い物を楽しみ、記念撮影でポーズを決めました。後半はチームで力を合わせての宝探しです。チーム色のメンコを3個見つけ終わると、園長先生からご褒美をもらいニコニコ笑顔でした。



水産高校缶詰体験(4日)

今年も浜田水産高校の1年生の生徒さんと一緒に交流することができました。最初に水産高校の生徒さんからお魚クイズをしてもらったり、缶詰ができるまでのしくみを教えてもらったりしました。

お魚クイズは高校生がが次々に凍った魚を見せてくれ、魚の名前を当てるものです。昨年は分からなかった名前(シイラ等)も今年は覚えていて、見事に答えていました。高校生も驚いたそうです。

缶詰作り体験では家庭から持ってきた自分の宝物(マスコットや写真、自分で折った折り紙等)を詰め込みました。缶詰の周りに貼るラベルには思い思いの絵を描き、世界に一つだけの宝物缶詰の完成です。高校生の皆さんが優しく園児に寄り添い、色々な話をしながらラベルを描く様子を見守ってくれました。

6月の乗船体験に続いて水産高校の生徒さんや先生方との交流は、子ども達にとって思い出に残る体験となっています。

